

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	31	学校名	吉野高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地域資源活用プロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	森林科学科・建築工学科・土木工学科3年生の「課題研究」(15名)で実施。地域資源活用および地域活性化の視点から、吉野町の魅力を発信し、地域住民との連携機会を創出すること。
連携・協働相手	吉野町役場各課、吉野町観光協会、吉野山観光協会、国栖の里観光協会、一般社団法人吉野と暮らす会、吉野町内各事業所、吉野町教育委員会、明日香村立明日香小学校
地域と共有している目標・課題等	地域創生・関係人口の拡大・地域課題解決の視点育成、吉野町の魅力発信、学校と近隣住民との連携
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
<p>幼・小・中や吉野町内の事業所や地域の観光協会と連携し、木製品のプレゼントや木工作品づくりのお手伝い、また、地域施設に設置する木製ベンチの製作など、地域資源を活用した「地域の魅力発信」を軸に取り組んだ。</p> <p>また、地域課題解決に向けて、事業での取組を各学科の課題研究に取り込み、活気ある授業展開が実施できた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>本事業は先輩から後輩へ受け継がれる事業となったが、高校の適正化による生徒数の減少や新型コロナウイルス感染症の影響もあり事業をスリム化することが求められた。地域の方々は活動を評価し、生徒の活動に期待されている。様々な協働のお話をいただく中で、生徒は意欲的に取り組み、地域との関係を深める事ができた。</p> <p>本年度で吉野高校としての取組を終えるが、現在続けている取組が奈良南高校へ、どの様に継承できるかが大きな課題である。</p>
--



吉野町小中一貫校へ書架の贈呈



明日香小学校へ木工部材の贈呈